

# にぎわいとやすらぎをもたらす ウォーターフロント地区の開発

令和5年度市民まちづくり研究員 今村 友里乃

## はじめに

今回のテーマを設定した背景について、大きく3つの要因がある。

1つ目は、マリンメッセやサンパレスなどにコンサートやイベントで訪れる機会はあるけれど、それ以外の目的でウォーターフロント地区に訪れる機会がほとんどないことである。ウォーターフロント地区はコンベンション施設以外にもベイサイドプレイスやみなと温泉波葉の湯、博多ポートタワーなどがある。それにも関わらず、それらの施設に訪れる人は多いとは言えない。私自身、この研究を行う前はそれらの施設に訪れたことがなく、私の周りの友人などでもウォーターフロント地区にコンサートやイベント以外で訪れている人はあまり多くない。また、コンサートや展示会でその地区に訪れた際にも、それらの施設を利用することが今までなかった。そのため、コンサートや展示会でウォーターフロント地区に訪れた際にどのような工夫をしたら、コンベンション施設以外の場所にも足を運ぶようになるかを考えたいと思った。また、私と同年代の20代～30代の年代がウォーターフロント地区に行くようにするためにはどのような取り組みを行ったら良いかを考える。

2つ目は、海外や国内のウォーターフロント地区のようなにぎわいを福岡でも創出したいと考えたことである。私は学生時代に行ったシアトルのウォーターフロント地区は、地域住民や観光客が訪れるような市場があり、市場では楽器の演奏を行っている人がいたりその周りで演奏を聴いている人が多くいたりしてにぎわいのある場所であった。福岡でもそのようなにぎわいのある場所を生み出すことはできないのかと思った。

3つ目は、福岡市がウォーターフロント地区の再開発に取り組んでいることである。福岡市では博多コネクティッドや天神ビックバンなど多くの再開発の取り組みを行っている。その中で、ウォーターフロント地区も様々な取り組みを行い、よりにぎわいのある地区にしようとしている。そのようなこれから変革を遂げていくであろう場所を調べたいと興味を持った。

# 1 ウォーターフロント地区の変革

## (1) ウォーターフロント地区開発

ウォーターフロント地区に関して、1980年代後半にも開発構想がなされている。その時代にウォーターフロントの課題として以下5つが挙げられている。

- ①アジアに目を向けた国際交流拠点の形成をめざす
- ②国際化・情報化に対応した新たな都心機能を導入する
- ③商業・業務・文化の都心機能として拡大が見込まれる天神の受け皿としての役割の要請
- ④市民にゆとりとるおいのある文化空間、水に親しめる空間形成
- ⑤物流システムや情報システムの高度化・近代化や施設の建替え等物流の再編整備の要請

福岡市は、これらの課題を解決するために、“海に開かれたアジア・九州のふれあい拠点づくり”を開発目標に掲げ、この実現のために以下3つの柱を設定した。

- ①国際交流拠点づくり
  - 会議・見本市・催し物等のコンベンションの誘致、開催
- ②新しい都心部の拠点づくり
  - 国際化・情報化・経済のソフト化などの新たな展開に対応できる都心機能の強化と魅力的な空間形成
- ③親水ふれあい拠点づくり
  - 市民の生活や意識の多様化対応したレクリエーション機能や親水機能を備えた生活・文化空間を創出するなど、海の自然や文化とふれあい、にぎわいのある楽しい快適な親水ふれあい拠点づくり

中央ふ頭・博多ふ頭エリアに関しては、①国際交流拠点づくりに焦点を当てた形ですすめられた。

表1 導入機能配置一覧の概要

	地区別開発の方向	導入施設例
中央ふ頭	○国際交流拠点として位置付ける ・港湾物流機能の再編成をめざし、倉庫、事務所などの高度化を計画 ・大型旅客船・フェリーターミナルゾーン、コンベンションゾーンの形成をめざす	・高度化物流施設 ・港湾中枢業務施設 ・大規模国際展示場 ・国際会議場、国際ホテル ・大型旅客船・フェリーターミナル ・親水緑地、駐車場
博多ふ頭	○市民の親水ふれあい拠点として位置付ける。 ・小型旅客船を中心としたターミナルに再整備するとともに、中央ふ頭と連携し、海に集い、楽しみ、遊べる、新しい生活文化をつくる界隈の形成を目指す	・小型旅客船ターミナル ・まつり広場 ・レストラン、ショップ ・文化施設、遊歩道 ・親水緑地、駐車場

出典：都心部ウォーターフロント開発構想を基に筆者作成

中央ふ頭エリアに関しては、大規模国際展示場として、マリンメッセ福岡の建設などがされている。

また、博多ふ頭エリアに関しては、レストラン・ショップとして、ベイサイドプレイス博多が作られた。マリンメッセ福岡に関しては建てられた後から今日まで、非常に高い稼働率で利用されている。その一方、1991（平成3）年にオープンしたベイサイドプレイス博多に関しては、オープン当初年間来場者数400万人超の市内有数の集客施設であった。

以上が福岡市の開発構想である。1980年代当時のウォーターフロント地区開発に関しては当初の想定通りの開発を行っているとは筆者は考える。しかしながら、現状ベイサイドプレイス博多に関してはオープン当初より来客数が減少している。その要因として交通の便が悪い点があると考え。ウォーターフロント地区までの交通手段として車とバスが上げられる。徒歩で行くとなると博多から約35分、天神から約25分かかる。バスの本数も決して多くはない状況のため、気軽に訪れる場所ではなくなっていったと考える。

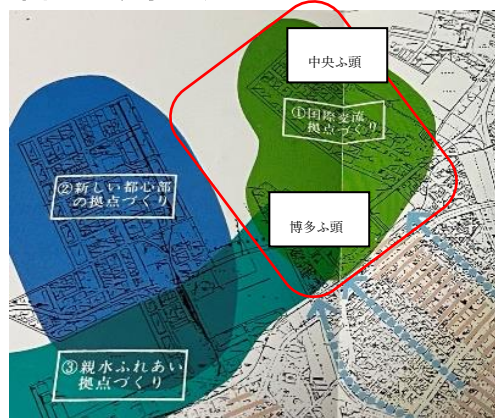
また、1990年代後半以降から現在まで、博多駅周辺の商業施設のオープンやキャナルシティのオープンなどウォーターフロント地区に行くより気軽に行きやすい商業施設が生まれたのもベイサイドプレイス博多に訪れる人が減少した要因だと考える。

そのような状況を踏まえて、現在再整備計画の立てられているウォーターフロントネクストはどのような取り組みを行っていくのだろうか。

## （2）ウォーターフロントネクスト事業について

ウォーターフロントネクスト地区は、国際会議やイベントなどのMICE施設が集積するとともに、クルーズ船や国際定期旅客船が寄港する国内有数の国際交流拠点になっている。この特性を活かし、感染症対応シティに相応しいまちづくりなどの新しい視点も加え、地区のエントランスゾーンに相応しい交流空間や交通広場の確保、国際競争力のある「オール・イン・ワン」のMICE拠点の形成とあわせ、海辺を活かした連続的なにぎわいや憩い空間の創出など、市民や来街者が楽しめる魅力あるまちづくりに取り組むための事業がウォーターフロントネクスト事業である。福岡市のウォーターフロント地区再整備事業の概要によると、まずは概ね10年間で第1ステージの再整備を進め、新たな経済波及効果（年間2,000億円程度）や雇用機会の創出などを図っていくとともに、市民や国内外からの来訪者の人たちが楽しめる新たな都心の拠点を形成していく計画がされる予定である。

図1…ウォーターフロント地区



出典：都心部ウォーターフロント開発構想<sup>(1)</sup>

まず、第1ステージでは MICE・クルーズ・にぎわいの3つ観点で概ね10年かけて再開発を行う。MICE に関しては、MICE 施設やホテル・にぎわい施設をコンパクトに配置し、オールインワンで行える MICE 開催環境を整備する予定である。クルーズに関しては、クルーズ機能の強化による供給力の向上と多様なクルーズ船が寄港し、国内外の人々が交流し賑わう「海のゲートウェイ」を創出する。にぎわいに関しては、MICE やクルーズなどの集客施設と一体的ににぎわいを創出し、国内外の人々の新たな交流の機会を提供するような場所をすることを目標に掲げている。また、市民や来街者も楽しめるような海辺沿いのにぎわいや憩いの空間を創出するような開発を市は予定している。

図2…ウォーターフロント地区の位置づけ



出典：福岡市 HP (2)

福岡市は現状、ウォーターフロント地区における MICE、港湾、交通関連の課題として下記10点を挙げている。

### 【MICE 関連】

#### ①既存コンベンション施設の高い稼働率とお断りによる経済的な機会損失

- ・会議場、展示会、コンサート等様々なイベントに利用されており、稼働率 70%を超える。
- ・マリンメッセ福岡や福岡国際センターなど展示施設の稼働率は、80%超えで、年間50件程度利用をお断りしており、経済的な機会損失が生じている。
- ・利用者は国内リピーターが中心で、新規催事の受け入れが困難な状況。

#### ②ゾーン内コンベンション施設の一体性・連続性の不足

- ・国内外の MICE 先進都市では、「オール・イン・ワン」を実現しているが、コンベンションゾーンにおいては、すでにコンベンション施設が集積しているものの、宿泊やにぎわい機能が不足しており、施設の一体性・連続性が確保されていない。
- ・国際的な知名度の向上や誘致力の向上。

#### ③市民が気軽に楽しめる海辺空間やにぎわいの不足

- ・飲食機能やゾーン内の回遊性などにぎわいが不足しており、市民やコンベンション利用者にとって利便性が不足している。

- ・天神や博多駅に近いにも関わらず、市民にとって身近な場所となっていない。
- ・コンベンションやイベント開催時と平常時のにぎわいに差がある。

#### ④中央ふ頭と博多ふ頭の集客交流施設との連続性や連携の不足

- ・約 500m程ある中央ふ頭のマリンメッセ福岡付近から博多ふ頭のベイサイドプレイスまでの間は、護岸から修景されたプロムナードであるが、にぎわいの連続性や連携が不十分であり、日常的な回遊が見られない。

#### ⑤ウォーターフロント地区の顔となるようなシンボル性が乏しい

- ・コンベンション施設の集積やクルーズ船の寄港の拡大などにより、多くの来街者が訪れるものの、地区の顔となるような空間や施設がない。

### 【港湾関連】

#### ⑥クルーズ需要の拡大に対し、受入環境が不十分

- ・中央ふ頭には、大型クルーズ客船が着岸できる岸壁が1つしかないため、大型クルーズ客船が2隻同時に着岸できない。
- ・博多港には、クルーズ船用のターミナル施設がないため、クルーズ船の船内レストランなどのスペースを活用して入国審査を行う場合もあり、また、クルーズの着岸場所には、夏の日差しや風雨を遮ることができる屋根付きの待機スペースもない。

#### ⑦人流及び物流の両面で重要な拠点であるが、各機能が混在

- ・天神や博多駅といった都心に近くアクセスが便利な中央・博多ふ頭においては、国際・国内の様々な定期航路等が就航しており、人だけではなく貨物も輸送していることから、人流機能と物流機能の調和が必要。
- ・中央ふ頭では施設の老朽化が進み、更新時期を迎える施設もある。

### 【交通関連】

#### ⑧公共交通によるアクセス性の不足

- ・都心部（天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区）を結ぶバス路線や乗り場が分かりにくい状況。
- ・イベント時には、公共交通アクセスの定時性・速達性が低下し、輸送力が低下している。

#### ⑨地区内の交通混雑



- ・イベント時を中心に、周辺道路において著しい交通混雑が見受けられる。

#### ⑩拠点間の回遊環境の課題

- ・天神・渡辺通、博多駅周辺とウォーターフロント地区を有機的につなぎ、回遊性を向上させる上では、案内サイン、花やみどりの演出など、安心して楽しく歩ける仕掛けが不足している。

以上、福岡市がウォーターフロント地区再整備の方向性の中で挙げた、ウォーターフロント地区の現状と課題を見たうえで実際にウォーターフロント地区（中央ふ頭・博多ふ頭）のにぎわい状況の調査を行った。

**表2 ウォーターフロント地区の利用状況**

	中央ふ頭周辺	博多ふ頭周辺	中央ふ頭～博多ふ頭
① 休日 イベント時			
② 休日 イベントがない日			

出典：著者作成（表内の写真はすべて著者撮影）

①の休日イベント時に関しては、マリンメッセにてコンサートが行われていた日に撮影を行った。中央ふ頭エリア（マリンメッセ周辺）には多くの人が並んでいたりと、木々の軒下の石段に座ったり大変多くの人で賑わっていた。中央ふ頭から博多ふ頭に向かうところにも多くの人が座っていた。イベントに連動して何か別の催しものも行っていた訳ではないが、博多ふ頭エリア（ベイサイドプレイス博多）周辺も多くの人が歩いていた。②のイベントがない日に関しては、中央ふ頭エリア・中央ふ頭～博多ふ頭間・博多ふ頭エリアすべてにおいて歩いている人や座っている人はほとんど見られなかった。ベイサイドプレイス博多の施設内の飲食店などには多くの人がおり、子連れの家族が特に多い印象を受けた。①の時は多くの人で賑わっていたが、ほとんどの人がコンサートに来る目的でここにいるだけの状況であったため、本当の意味でのにぎわいとやすらぎを生み出していない状況だと思う。ウォーターフロントネクスト事業でも掲げられている、「海の自然や文化とふれあい、にぎわいのある楽しい快適な親水ふれあい拠点づくり」を生み出すにはどのような取り組みを行っていけばよいのだろうか。



## (2) ベイサイドプレイス博多での取り組み

ウォーターフロント地区にある商業施設“ベイサイドプレイス博多”では人々に来てもらうために様々なイベントを企画している。2022（令和 4）年の1年間でどのようなイベントがあったのか主なイベントを下記表にまとめた。

図3 ベイサイドプレイス博多イベント一覧

月	主なイベント
1	祝・成人・ふるまいぜんざい
2	—
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ND「LIVE PAINTING」 in ベイサイドプレイス博多</li> <li>・春休み♪ちんどん屋【体験】 in ベイサイド</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回さくらウォーク from ベイサイド</li> <li>・和太鼓フェス 2022 in ベイサイド</li> <li>・IDOL BASTAR LIVE!</li> <li>・G.W ベイサイドステージ 2022</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイサイドプレイス博多・アイドル演舞台 2022</li> <li>・BAYSIDE WEEKEND HULA</li> <li>・東フェス 2022</li> <li>・ミルキーウェイに「トウイ」がやってくる!</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの初恋～コリアン BBQ ビアガーデン</li> <li>・七夕～短冊に願いを込めて～</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイサイドストピストリートライブ</li> <li>・ベイサイドサマーステージ 2022</li> <li>・光田健一ピアノうた♪mini CONCERT</li> <li>・ベイサイドストピ『テクル ミニ LIVE』</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイサイドストピ『ぼこあぼこ Summer Live』</li> <li>・ベイサイドストピ『あやたんぬーぷちコンサート』</li> <li>・ベイサイドストピ『福岡第一高校音楽家クラシック演奏部』演奏会</li> <li>・ベイサイドストピ『ピアノデュオ (Duo les portes)』</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BAYSIDE FESTIVAL 2022</li> <li>・肉博（にくぱく）2022</li> <li>・アクアリウム裏に巨大アート!! 奥田和久ライブペインティング</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイサイドにカメを描こう! 参加型アートイベント</li> <li>・秋のベイサイドウォーキング! 博多のまちを歩こう</li> <li>・Festa do Brasil 福岡 2022</li> <li>・ハワイアンフェスティバル福岡 2022</li> <li>・すぎもりえいとく氏アートイベント「第3回ライブペイント」</li> <li>・ミルキーウェイ「HALLOWEEN PARADE～2022」</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイサイド冬の風物詩～かき小屋 in ベイサイド 2022～2023</li> <li>・海辺の発表会 2022</li> <li>・ベイサイドイルミネーション 2022～2023</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミルキーウェイ「リトルパティシエ 2022～Xmas スイーツを作ろう～」</li> <li>・ミルキーウェイ「HAPPY CHRISTMAS 2022」</li> </ul>

出典：ベイサイドプレイス博多 HP を基に筆者作成

## 2 にぎわいとやすらぎとは

### (1) にぎわいとやすらぎの定義

まず、にぎわいとやすらぎのある空間とは、以下の要素がある状態と定義したい。

【にぎわい要素】人がたくさん集まっており活気がある状態

【やすらぎ要素】心が満ち足りている状態

新明解国語辞典で「にぎわう」は、①人・物がたくさん出そろって、活気がある。②商売・取引が盛んで繁盛する。という意味が書かれている。また、「やすらぎ」は、自分を取り巻く環境に何の不安も無く、毎日の生活を満ち足りたものに思う気持ちと書かれている。

### (2) にぎわいとやすらぎの空間の必要性

【にぎわい要素】と【やすらぎ要素】を持った空間が福岡にはあるだろうか。天神や博多は人の多さはあるけれど、これらの要素を持った場所ではないと考える。また、人々同士のつながりが薄くなっている今日であるからこそ、この【にぎわい要素】と【やすらぎ要素】を持つような空間を生み出すことは必要であると思う。

### (3) にぎわいとやすらぎの空間の事例

ここで、国内・海外でにぎわいとやすらぎの空間を生み出している事例に触れたい。

#### ①海外での事例

(ア) パイクプレイス (アメリカ・シアトル)

○シアトルで人気の観光地。魚介類や果物、手作りの工芸品やお土産なども売っている市場。地元の人々と観光客が交じり合う場所。

○投げ売りをする魚屋や、スターバックス1号店などもあり多くの人でにぎわう。

⇒多くの人でにぎわい活気がある場所

【にぎわい要素】

○定期的にイベントを行っている。

例えば、ストリートパフォーマンスや音楽ライブ、フラワーフェスティバルなどがある。

⇒人が集まるような催し物を行うことでにぎわいが生まれる場所

【にぎわい要素】



写真1...PUBLIC MARKET

出典：著者撮影



(イ) マリーナベイサンズ・ガーデンズバイザベイ (シンガポール)

- マリーナベイサンズでは光と水のシンフォニーが毎晩行われている。また、ガーデンズバイザベイでも夜のライトアップショーが行われている。観光客でにぎわっている。
- ⇒多くの人が集まり盛大なライトアップショーが行われて活気であふれている

【にぎわい要素】



写真 2…ライトアップショー  
出典：著者撮影

(ウ) プロムナードデザングレ (フランス・ニース)

- 地中海に沿って位置する有名な海外遊歩道。
- 西海岸の穏やかな海をゆっくりと眺めて歩ける場所。また、多くの人々が海岸沿いで寝転がっていたりゆったりとした空間が流れている。
- ⇒多くの人々がのんびりと過ごせるような場所

【やすらぎ要素】



写真 3…ニースの海岸  
出典：著者撮影

②国内での事例

(ア) 神戸ウォーターフロント

- 神戸を象徴するようなオブジェや神戸ポートタワー、スターバックスなどがある。
- ⇒オブジェに多くの人々が並んで写真を撮っていた【にぎわい要素】
- ウォーターフロントアートプロジェクトや謎解きゲーム、クリスマスマーケットなど多くのイベントを行っている。
- ⇒多くの人々がイベントに集まり活気のある場所である【にぎわい要素】



写真 4…神戸のオブジェ  
出典：著者撮影

(イ) 桜井二見ヶ浦 (福岡県・糸島市)

- 夏至の頃にしか見ることのできない、岩と岩の間に沈む夕日が見られる。
- 夕日を見るとここと穏やかな気持ちになり、心が満たされるような状況になる。
- ⇒【やすらぎ要素】
- 多くの人々がこの場所で夕日を見るために訪れる
- ⇒活気あふれる場所【にぎわい要素】



写真 5…桜井二見ヶ浦  
出典：糸島観光サイトつなぐいとしま<sup>(3)</sup>

### 3 にぎわいとやすらぎの空間をウォーターフロント地区で実現させるには

#### (1) 誰のための取り組みなのか

にぎわいとやすらぎの空間を生み出すのは誰のための取り組みだろうか。

この研究では 20 代～30 代くらいの地元の人々に焦点を当てたいと思う。冒頭で書いたように、私をはじめ、20 代～30 代の人々はコンサートなどでウォーターフロント地区を訪れる機会はあるけれど、それ以外の目的で来る機会が中々ない。この場所をコンサート会場に行く目的だけでなく、違う目的で来てもらうきっかけを作りたいと考えている。

#### (2) にぎわいとやすらぎの空間とは

にぎわいとやすらぎの空間とはどのようなものだろうか。私が考えるにぎわいとやすらぎの空間は下記のような空間である。

- ①ストリートミュージックなど、音楽に惹かれて人々が集まりその音楽を楽しむような空間⇒【にぎわいの要素】
- ②野菜や魚など特産品を売るようなマルシェがあり、地域の人や観光客でにぎわうような空間⇒【にぎわいの要素】
- ③水と音楽のショーやライトアップと絡めたイベントを生み出す空間⇒【にぎわいの要素】
- ④訪れた人が海辺で横になってゆっくりとできるような空間⇒【やすらぎの要素】
- ⑤植物や自然の夕日・朝日などを見ることで心が満たされるような空間⇒【やすらぎの空間】

#### (3) 理想の姿の実現に向けた施策

①中央ふ頭・博多ふ頭に時間帯に応じて複数か所の会場を設け、公募で募った出演者が、審査を経て演奏できるようにする。

(例：みなとみらい STREET MUSIC) また、演奏を行う場所には椅子の設置や芝生の整備を行うことで、座って演奏を聴くことができるような環境整備を行うことも必要である。また、MARINE & WALK YOKOHAMA の海沿いのエリアでは DJ によるライブを開催している。



写真 6…みなとみらい STREET MUSIC  
出典：(社) 横浜みなとみらい 2 1 <sup>(4)</sup>

夕暮れ時には夕日を眺めながらゆったりとした時間を過ごせるような空間を生み出している。



写真 7…DJ イベント

出典：MARINE&WALK YOKOHAMA より<sup>(5)</sup>

②地元の野菜や海鮮の販売や、障がい者支援の一環として、福祉施設で育った農産物や加工品などの販売などを行う。地域の方と観光客の方とのつながりを生み出せるような場所にしたいと考えている。JR 博多駅前広場で開催されている“博多 FARMERS’ MARKET”は九州の生産者と博多を訪れる観光客とのつながりを生み出している良い例だと考える。また、時間帯を分けて、朝行うマルシェと夕方から行うサンセットマルシェを開催する。朝と夕方で開催場所を分けて朝は中央ふ頭から博多ふ頭間のエリア、夕方からは夕日の見える博多ふ頭緑地サンセットパークでの開催などができたら良いと考える。(例：南城市の浜辺サンセットマルシェ)



写真 8…サンセットマルシェ

出典：南城市観光協会より<sup>(6)</sup>

③シンガポールのように海と光の融合したショーを土日限定で行う。

④海沿いの場所に芝生を敷くことで、寝転がることのできる空間を形成する。また、緑や植物であふれるような場所にできたらと考える。福岡市では一人一花運動が実施されているため、その事業に絡めた形で実現ができると思っている。



写真 9…一人一花運動

出典：筆者撮影

#### (4) 天神・博多～ウォーターフロント地区まで歩きたくなる仕掛け

ウォーターフロント地区の最大の課題は天神・博多～ウォーターフロント地区まで歩く距離だと考える。博多駅から徒歩約 35 分、天神からだ徒歩約 25 分程度かかる。この距離の問題を解決することが重要であると考え。ではどのようにしたら少しでも多くの方がウォーターフロント地区まで歩きたくなると思えるだろうか。福岡市で実際に行われて



いる事業や他地域でされている事案を基に例を挙げる。

### ①歩きたくなるような足跡

福岡市は自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けのある街を目指して“Fitness City プロジェクト”を行っている。

その一環として昨年の7月より博多駅～祇園駅をつなぐ大博通の西側歩道において、カラフルな足跡を路面に表示している。

実際に私も歩いてみたが、多くの人はその足跡に目を留めていなかったため、多くの人が気づくような工夫が必要だと感じた。例えば歩きながら謎解きができるような路面表示を作成し、楽しみながら歩く取り組みができれば今より多くの人が歩きたいと思うようになるのではないかと考える。また、博多駅～祇園駅だけでなく博多駅・天神駅～福岡サンパレスホテル&ホールまで路面表示を行いたいと考える。



写真 10…足跡の写真

出典：著者撮影

### ②路面アート

雨の日だけに描かれるアートやマリネメッセやサンパレス福岡ホテル&ホールで開催されているイベントとコラボした路面アートなどがあれば歩く人が増えると考えます。実際に横浜にある商業施設“MARINE & WALK YOKOHAMA”では、雨の日だけ浮かび上“Rainworks”という取り組みを実施している。これ雨の日にならないとどこに浮かび上がるか分からない組みになっているため歩く取り組みには適している。



写真 11…路面アート

出典：MARINE&WALK YOKOHAMA より<sup>(7)</sup>

### ③オリジナルのお弁当作り

博多駅・天神駅～ウォーターフロント地区まで歩く道中、多くの飲食店が周辺にある。その為、何店舗かの方に協力をしていただき、自分だけのオリジナルお弁当を作るイベントができればと考える。実際に鎌倉・由比ガ浜エリアで“OBENTO プロジェクト”というイベントが実施されている。このプロジェクトは、空のお弁当に由比ガ浜～長谷エリアをまち歩きし、お店の方と会話をしながら、好きな料理を自由に詰めて、世界に1つだけの



写真 12…OBENTO プロジェクト

出典：ハロー！RENOVATION HP より<sup>(8)</sup>

お弁当を完成させるプロジェクトである。最終的にウォーターフロント地区のベンチなどで食べられるような仕組みにしたいと思う。まち歩きを行うことによって、地域のお店にも貢献できるような取り組みが実現できると考える。

## おわりに

私はこの研究を行うにあたって何度かウォーターフロント地区を散策したり、博多駅～ウォーターフロント地区まで徒歩で行ったりした。この研究を行うまではウォーターフロント地区の魅力をほとんど知らなかった。実際に訪れてみると、私が想像していた以上に魅力的なところが数多く存在した。例えば、博多ベイサイドプレイスには有名なミシュランのレストランが入っており、また糸島まで行かずとも楽しめる牡蠣小屋がある。博多ポートタワーは無料で登ることができ、福岡の景色を楽しむことができる。また、博多ポートタワーの奥にはゆったりと海を眺められる博多埠頭緑地サンセットパークがある。このような魅力があることを私は知らなかった。おそらく私と同年代の多くの人がこの魅力には気づいていないと考える。ウォーターフロント地区までに行くには交通の便が悪いことが一番の課題だと考える。しかしながら、歩いても行きたくなるような仕掛けづくりを行うことで人々が行ってみたいと感じるのではないか。博多・天神エリアにはないもの、例えば海辺を活かした取り組みを行うことが重要になってくると思う。また、博多・天神エリアからでも行きやすくする交通網の改善や、長時間でも歩きたいと思わせる道中の施策も必要である。現在取り組みがされているウォーターフロントネクスト事業に歩きたくなる仕掛けを組み合わせることで、ウォーターフロント地区が今以上に魅力的で人々を再び引き付けるような場所になることを願っている。

<参考文献>

- (1) 『都心部ウォーターフロント開発構想』1988, 12
- (2) 福岡市.” ウォーターフロント地区再整備事業の概要”  
[https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/67322/1/wf\\_sounding\\_jigyougaiyou.pdf?20190225143454](https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/67322/1/wf_sounding_jigyougaiyou.pdf?20190225143454), (参照 2024-03-01)
- (3) つなぐいとしま.” 桜井二見ヶ浦”  
[https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/67322/1/wf\\_sounding\\_jigyougaiyou.pdf?20190225143454](https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/67322/1/wf_sounding_jigyougaiyou.pdf?20190225143454), (参照 2024-02-24)
- (4) みなとみらい 21.” 音楽のあふれる街みなとみらいへ！街中がステージになる「みなとみらい STREET MUSIC」” 2022-08-08. <https://minatomirai21.com/special/22448>, (参照 2024-03-01)
- (5) MARINE & WALK YOKOHAMA. facebook, 2018-05-27. <https://m.facebook.com/marineandwalk>, (参照 2024-02-20)
- (6) 南城市観光協会. facebook, 2022-06-26. <https://m.facebook.com/okinawa.nanjo>. (参照 2024-02-20)
- (7) MARINE & WALK YOKOHAMA. facebook, 2018-05-31. <https://m.facebook.com/marineandwalk>, (参照 2024-02-20)
- (8) ハロー！RENOVATION.” 鎌倉「まち歩き×オリジナルお弁当づくり」で商店街の魅力に触れよう OBENTO プロジェクトキックオフ！” 2022-01-15.  
<https://hellorenovation.jp/news/detail/13201?fpc=6.5.365.58c00eb650666f7Z.1740737143000>, (参照 2024-02-20)